

推薦絵本集計結果

1 集計表（推薦者 五十音順）

推薦絵本			入替候補絵本	推薦者	票数	資料ページ
タイトル	作者	出版社・価格				
カラフル	新井 洋行：作	岩崎書店 825円	くだもの	荒井委員	2	2ページ
なで なで なーで	にへい たもつ：作 わたなべ さとこ：絵	KADOKAWA 1,078円	ぽんちんぱん	飯田委員	2	2ページ
おせんべ やけたかな	こがようこ：構成・文 降矢なな：絵	童心社 1,045円	ぽんちんぱん	稲富委員	3	2ページ
だるまさんが	かがくい ひろし：作	ブロンズ新社 935円	いないいないばあ	今井委員	1	2ページ
たまごがあるよ	風木 一人：作 たかしま てつを：絵	KADOKAWA 990円	ぽんちんぱん	成田委員	3	3ページ
おやさい めしあがれ	視覚デザイン研究所：作 高原 美和：絵	視覚デザイン研究所 880円	くだもの	西澤委員	3	3ページ
みんなうち	五味 太郎：作	福音館書店 990円	ぽんちんぱん	古川委員	1	3ページ
おかあさんといっしょ	藪内 正幸：作	福音館書店 990円	もう おきるかな？	柳澤委員	1	3ページ

2 推薦理由等（推薦者 五十音順）

※【資料7】推薦絵本一覧の推薦理由も併せてご覧ください。

タイトル	推薦理由
カラフル	<ul style="list-style-type: none"> • 本の大きさは赤ちゃんが持ちながら見られそう。 • 装丁がしっかりしている。 • 絵も色もはっきりしている。 • カラフルというネーミングが、様々なこと（多様性、ダイバーシティ）を含んでいるようで、時代を反映している。 • 内容も、深く普遍的。 <p>• 実際に0歳児クラス、1歳児クラスで読んでいますが、子ども達の反応が良く擬音語の部分で笑っています。子どもの目でも音でも楽しめる絵本なので推薦します。</p>
なで なで なーで	<ul style="list-style-type: none"> • 赤ちゃんの体にふれながら楽しめそうな本でした。子どもはいくつになっても自分に関心を持ってもらいたいもの。 • 一方、親は成長するにつれ手が離れてしまうと、余りさわらなくなってしまいます。小さい内から体をさわる習慣がついていると、大きくなってからもスキンシップに抵抗なくできて良いと思います。赤ちゃんのお世話にプラスの本で良かったと思います。 • 年齢的に1歳未満だと簡単で分かりやすい絵本が1冊含まれているのがよい。身体接触を親子で楽しむことができ良いと思われる。スキンシップ「だいすきぎゅ」を通して、親が子を愛おしく感じることができる参加型の絵本です。本の構成も繰り返しのリズムがあるし、身近な動物を取り上げているのも良いと思います。
おせんべ やけたかな	<ul style="list-style-type: none"> • 生まれてすぐからでも、わらべうたは赤ちゃんとつながるアイテムです。声掛け、触れる、だけで感覚の土台となる愛着（大切にされている、愛されている）を示すことができます。わらべうたは、大人と子どもを楽しく繋げてくれるだけでなく、日々の生活を緩やかにする魔法の言葉です。そんな絵本を届けたいです。 • 一歳未満の子にわらべうたという文化を届けてみるのも良いと思います。煎餅が焼けたかなと指さして楽しめ、活動する親や子の笑顔が見えるようです。読むだけで自然とリズムが生まれます。わらべうたの遊びを紹介する一助になります。そういうものを一冊紹介してみたいと思います。 • わらべうたは赤ちゃんに語りかけやすく、お母さんのことばがけの手助けになりそうなので良いと思います。
だるまさんが	<ul style="list-style-type: none"> • 親子でだるまさんと一緒に身体を揺らして楽しめるから。

タイトル	推薦理由
たまごがあるよ	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で卵を一緒に割る真似をしながら楽しく読み進められそうだったから。 ・絵や色がはっきりしている。 ・ことばのくりかえし、そこにちょっとずつ変化がある。 ・読み手が赤ちゃんの手をとって一緒にたまごをたたいたりなでたりすることでふれあい生まれる。 ・繰り返しの中にも変化があり読みながら一緒に「とんとん」と割ったり「なでなで」したりと親子でコミュニケーションが取れるすてきな絵本だと思いました。 ・卵からどんなひよこが出てくるのかわくわくしながら読める絵本だと思いました。
おやさいめしあがれ	<ul style="list-style-type: none"> ・〈野菜嫌いを防げよう〉に惹かれました。家の、もう大きい孫ですが、お肉大好きでお野菜はシブシブになっていますので。 ・何度見てもリアルな絵にひきこまれ、本当にさわれるのでは？と思う程魅力的な絵です。野菜をより身近に感じられ、食育にも役立ちそうです。今まで課題であった長く楽しめる・使える本としても充分役に立ちそうです。一緒に料理を作るきっかけにもなりそうです。 ・絵がとてもよいと思う。 ・シリーズもので他にも絵本があるので別のものにも興味が広がっていきそう。 ・「くだもの」と入れかえてもよいのでは。
みんなうち	<ul style="list-style-type: none"> ・「うち」「あとしまつ」など共通のフレーズの繰り返しもあるので赤ちゃんでも楽しめる。 ・字や絵が大きくてわかりやすく、それぞれの年齢段階に応じて楽しみ方がある。 ・この一冊から様々な発見や疑問を持つことができる。
おかあさんといっしょ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにこそ本物をという藪内さんのしっかりした絵によるものは一冊入っていた方がよいと思うので、別ものと入れ替えたらよいと思います。